

海外留学キャンパスレポート

法学部 法律学科 四回生
トリア単科大学 交換留学 麻生葵斗

私の大学が位置するトリアという町はヨーロッパの空の玄関口「フランクフルト国際空港」からバスもしくは電車で約3~4時間程度離れた場所に位置しています。ラインラント＝プファルツ州（Land Rheinland-Pfalz）に属している市街地で、州の中で三番目の規模を誇ります。モーゼル川沿いに位置するドイツ最古の都市とも言われており、ドイツワインの発祥の地とも言われております。また、春夏秋冬を通じて比較的過ごしやすい気候が続くこともあることから、休日には多くの観光客が訪れます。都会過ぎず田舎過ぎずという印象を与えてくれるトリアは、勉学に勤しむためには丁度いい規模の街なのではないでしょうか。



トリア単科大学の写真とモニュメント（左）大学から一望できるトリアの街（右）

モーゼル川沿いに一人暮らし用の学生寮（Martinskloster・Cusanushaus）があり、このどちらかで生活することになります。他の国から来た留学生も同じ学生寮に住んでいるので、友達と食事を済ました後、一緒に買い物に行くなど楽しい学生生活が送れるのではないのでしょうか。

大学の授業では英語もしくはドイツ語で開講されている授業を履修することができます。もちろん、フランス語やスペイン語で開講されている授業なども幾つかあるので、可能性を広げることもできるのではないのでしょうか。座学のみならず、プレゼンテーションやケーススタディもあるので、自身の成長を実感することができると思います。

【今後留学する人へのアドバイス】

学生生活の中で留学という選択肢を選ぶほどの人なので、行動力については言及する必要は無いかと思います。ですので、私からは「物事を深く考える姿勢」を大事にしてほしいと考えています。「留学先では先生に質問するのが当たり前」という定説が広がっていま

すが、質問する自分の姿に酔うのではなく、なぜ質問をするのか、その問題の本質は何なのかを考えることで、より深い学びを獲得することができるのではないかと私は考えています